

令和4年度

静岡県立浜松大平台高等学校学校運営協議会議事録（まとめ）

令和5年3月

静岡県立浜松大平台高等学校

内容

令和4年度第1回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議事録	3
1 校長挨拶	3
2 学校経営計画についての説明（校長）	3
3 定時制授業見学	3
4 意見交換	3
5 次回以降の開催について（予定）	4
令和4年度第2回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議事録	5
1 校長挨拶	5
2 会長挨拶（和田恵子様）	5
3 日程説明（向井教頭）	5
4 文化祭見学	5
5 全日制の活動報告（向井教頭）	5
6 定時制の活動報告（川村副校長）	6
7 意見交換	6
8 次回以降の開催について	6
令和4年度第3回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会	7
令和4年度第4回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議事録	8
1 校長挨拶	8
2 会長挨拶	8
3 学校運営協議会委員挨拶	8
4 校内研修視察	9
5 令和4年度学校評価について	9
6 学校経営報告書について説明	9
7 質疑応答	9
8 事務連絡	9
9 校長から	9

令和4年度第1回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議事録

日時：令和4年4月26日（火）午後2時から4時

場所：浜松大平台高校 第1応接室 他

1 校長挨拶

令和3年度は、コロナ禍のため書面による運営協議会の開催もあったが、委員の皆様には教育現場を見ていただき、貴重な御意見をいただくことができた。今年度も様々な学びの形態を見ていただき、御助言等をいただきたい。

また、昨年度は全日制の黒板アートや定時制のサッカー部等、全国優勝を果たす活躍があった。今年度も全国を目指す活躍を日々の教育活動の中で支援していきたい。

2 学校経営計画についての説明（校長）

【全日制】目指す学校像の基軸は今年度は変更せず、引き続きその効果の検証をしていきたい。グランドデザインにおいて示されているとおり、地域連携に重点を置き、多様な教員の強みを生かし、総合学科の系列の特長を生かした学習内容の充実をさらに図っていく。課題研究等の日々の学校教育の中においても、課題発見解決力等を鍛えていきたい。

【定時制】目指す生徒像についてであるが、多様な進路希望に応じた教育課程を提供していきたい。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等関係機関との連携をさらに推進し、「チーム学校」として、丁寧に大切に支援をしていきたい。

【委員からの意見】

- ・キャリア教育は、高校を卒業して即社会に出ていく生徒の職業選択に直接つながっている。
- ・教育活動をとおして、自己決定力が鍛えられている。
- ・「NIE」、「PFI」、「SC」、「SSW」等の言葉は、補足を加えたほうがよいのではないか。
- ・教職員の多忙化解消に向けてできることを進めてほしい。

令和4年度学校経営計画は承認された。

3 定時制授業見学

政治経済、古典、フードデザイン、社会福祉基礎、音声表現等の授業を見学

4 意見交換

省略

5 次回以降の開催について（予定）

第2回 8月1日（月）中学生対象オープンスクール日を予定

令和4年度第2回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議録

日時：令和4年11月13日（土）午前10時から12時10分

場所：浜松大平台高校 会議室 他

1 校長挨拶

現在、大きな問題もなく学校経営計画に沿って学校運営が行われている。本年度中に学校経営計画とは別に、求める入学生徒像や教育課程、卒業までの生徒の育成について示したアドミッション・カリキュラム・グラデュエーションポリシーの策定を進めている。本校の実態をお伝えできるようなわかりやすいものを目指しており、次回の会議以降にお示しして御意見を頂戴したい。

各課程について簡単に説明する。定時制については、外国人支援内容の充実に向けて県教育委員会からも支援いただいている。部活動ではソフトテニス部が全国大会ベスト4に入り、陸上部では走高跳で準優勝という結果を残した。全日制では、就職に関してはほぼ全員が希望するところに進んでいる。部活動では、黒板アートは二連覇を逃したが、今回も素晴らしい作品に仕上がった。部員の個々の力をつなげて1つの作品を作り上げる黒板アートの指導が確実に成果となって表れ、美術部は絵画部門で来年度の全国高等学校文化祭に出品することになっている。

この後は文化祭を御覧いただき、ご意見を頂戴したい。

2 会長挨拶（和田恵子様）

昨日私共の学校では、学習発表会があり、コロナ禍前のようにはいかないが、保護者の皆様に今の子供たちの学びの成長の一端を見ていただくことができ良かったと思っている。また、様々な教育活動や指導方針を保護者にどのように発信しているが、発信することにより本校の教育活動に関して取組の様子を自ら検証しながら進めていくことも大切だと考えている。今日は委員の皆様にご意見をいただきながらお役に立てればと思っている。

3 日程説明（向井教頭）

4 文化祭見学

3年生各HR展示、部活動展示、農場棟展示、生徒ホール等見学

5 全日制の活動報告（向井教頭）

コロナ禍で制限等はあるが、体育大会等の学校行事もできるだけ平常時に近い形で行っ



ている。授業では、前任の退任により、新たなALTが7月から配属され、台湾との交流では英語、中国語を駆使して協力いただいた。また、販売実習や中学生対象にプレゼンテーションを行う等、各系列の特徴を生かしながら授業を行っている。

GIGAスクール構想のもと、本校では、将来性や系列の学習における便宜性を考えて、一年生がiPadを購入した。価格は6万円前後である。BYODの特性もあるため、学校外での使用については保護者に権限を任せている。調べ学習ではプレゼンテーションソフトを駆使した課題や授業の感想の提出等に役立っている。校内研修として職員対象に模擬授業等も行った。進路の状況について、進学を希望する生徒が今年増えている。就職も県下の企業に希望する生徒が多く内定をいただいた。中学校での学校紹介の際は、黒板アートに関心を持つ生徒が多いと感じた。また、外部機関との連携では企業との交流を進めている。

(清水校長) 特に、国際ビジネス系列では、静岡新聞、はままつ磐田信用金庫、地区自治会、マストレ等とのコーディネートをエネジンさんの地域貢献部署が行ってくださった。また、静岡新聞の海野委員には、取材の仕方等を御教示いただき、生徒の活動に役に立っている。

6 定時制の活動報告 (川村副校長)

昨年度は118名が卒業したが、140名近い生徒が現在卒業を目指している。内訳は、30%強の生徒が就職、次に25%近くの生徒が専門学校を目指している。そのほか、すでに就職している生徒や進路の準備をしている生徒もいる。28名の生徒が延べ29社受け、23名が内定をいただいた。就職後は、コミュニケーション、自己表現、チームワーク等のスキルが必要なため、資質を高める支援をジョブサポートティーチャー等と連携して行っている。

今年は6部活動が全国大会に出場した。定時制の全国大会は首都圏で行われ、コロナ禍で心配もされたが無事に参加できたことを大変良かったと思っている。定時制生徒に対し、今年も就職応援セミナー、キャリア支援を行い、新たに外国人生徒相談事業が始まった。外国人生徒の居場所づくりとして機能すればと考えている。文化的、言語的多様な生徒を応援すべく、高木先生のご尽力もあり静岡文化芸術大学の学生さんに協力いただいている。生徒だけではなく、保護者への支援についても様々に企画をしている。

7 意見交換

省略

8 次回以降の開催について

第4回学校運営協議会を2月1日(水)に予定している。

令和4年度第3回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会

新型コロナウイルス感染症拡大のため、資料提供のみとし、協議等は第4回に延期した。

令和4年度第4回静岡県立浜松大平台高校学校運営協議会議事録

日時：令和5年2月1日（水）午後1時30分から3時30分

場所：浜松大平台高校 会議室 他

1 校長挨拶

今年度はコロナの影響が全くなかったわけではないが、その中でも確実に教育活動を進めてきた。本日は、今年一年間の学校自己評価について報告させていただく。皆様には第三者の立場から評価をいただきたい。

生徒の様子を少しご紹介させていただくと、全日制では給食コンテストで最優秀をいただいた。この生徒は人文系列で学んでいるが、農業の勉強も行い今回の成果に繋がった。総合学科の学びの可能性を感じた。定時制では、中学校からの学び直しを経て大学進学の実現した生徒がいる。多様な生徒がいる中で大いに励みになることだった。

2 会長挨拶

コロナも収束しつつあり、現在、今年度のまとめと来年度の準備期間として小学校でも教育活動を行っている。高校の教育活動の自己評価がどのようになされているのか等、今後の参考となる意見が皆様から伺えるとよい。

3 学校運営協議会委員挨拶

和田会長：今年度末で委員を退任となるが、高校がどのような教育活動を展開しているかが理解できた。人生のやる気になった時に学び直しができる場があるということが分かった。

高木委員：総合学科での学びが社会の学びに近いという点で素晴らしいと思う。外国人支援としても本校の学生が訪問させていただいているが、今後も協力できることがあれば協力させていただきたい。

海野委員：新聞で浜松大平台高校の記事が出るたびに応援させていただいていた。引き続きお願いいたします。

斎藤委員：今年はコロナ禍で活動が難しいことがあった。次年度も引き続きよろしくお願いいたします。

笠原委員：皆さんの幅広い意見を聞かせていただくことができ光栄だった。

鈴木委員：様々な方に学校を見守っていただいているということが分かり、保護者として大変ありがたく感じている。

黄地委員：身近に感じている学校だったが、より指導方針等が分かりよかった。中学校でも共

有らせていただきたい。

4 校内研修視察

講師 静岡大学教育学部 塩田真吾 氏

内容 ICTの安全安心な利用と探究学習への活用について

対象 全日制 1年生、教職員

5 令和4年度学校評価について

・**スクールミッション等の説明（清水校長）**

今後も生徒たちの意見も取り入れて考えていきたい。

6 学校経営報告書について説明

・全日制 （新井副校長）

・定時制 （川村副校長）

7 質疑応答

省略

8 事務連絡

関係者評価は2月10日までをお願いしたい。

来年度の第1回学校運営協議会は4月26日（水）の予定。

9 校長から

本校に様々な御意見いただきましたこと改めて感謝したい。今後も引き続きよろしくお願ひします。